



佐々木 大三郎 議員



一問一答方式

# 少子高齢化と人口減少対策は

## 市長 既存対策を脱し新しいことに挑戦

問.....

急激な少子高齢化と人口減少の現状認識は。

答(市長).....

悪化状態が続いている。この構造から脱却し、持続可能な将来像を描くには、既存の価値観にとらわれず、新しい視点で挑戦する。

問.....

解決策は、若者が地元

「子育てするなら遠野」に相応しい環境整備を進め、若者の地元定着とU・イターンなどの移住促進を図るべき。

答(市長).....

言葉だけではなく、男女の出会いから、結

当職員の増加も検討し、企業にご満足いただける支援体制を構築する。また、海外からの人材確保にも本格的に取り組む。

問.....

子育て支援住宅の整備計画は。

答(市長).....

将来に対する有意義な投資と捉えて、空き公営住宅や、空き家の有効活用を進める。

婚・妊娠・出産・子育て・孫育てまで切れ目のない支援策を強化する。

# 観光振興対策は

## 市長 新たな組織(※DMO)を設置する

問.....

観光振興策としてDMOの設置が計画されているが、目的と期待される効果は。

答(市長).....

DMOは、観光施策の司令塔の役割を担い、地域観光のマーケティングとマネジメント機能を持ちながら、取り組みの企画立案、資金調達などを行うことにより、効果的なプ

ロモーションと観光商品の提供が可能になる。

問.....

DMOの運営主体と権限、責任の所在は。

答(市長).....

全て「(株)遠野ふるさと商社」に持たせ、最終責任は経営者(役員)が負う。

問.....

運営資金の確保は何かからか。

答(市長).....

市からの受託・補助事業や物販、旅行商品の販売により健全な収支経営を図る。

※DMO  
Destination Management  
Marketing Organization  
(観光地域づくり法人)

## 議員全員協議会研修会

研修日  
1月20日(金)

### ◆議会基本条例の原点に立ち戻る

早稲田大学マニフェスト研究所の招聘研究員(青森大学社会学部教授)佐藤淳先生をお招きし、市政調査会および議会改革推進委員会主催の議員全協議会研修会を開催した。

研修会は「議会基本条例の原点に立ち戻ろう」と題して、二部構成で行われた。

第一部の内容は、議会からの「政策サイクル」。

常任委員会の活動計画の策定や、政策提言

# 学んで行動する議会へ

を行っている他市議会の取り組み事例について説明を受けた。第二部の内容は「議会基本条例について対話しよう」。



議会力・議員力の向上へ 積極的な対話を行った研修会

その後※ワールドカフェ方式で「今、上手く出来ているところ」「これから伸びるところ」など議員同士で対話を行った。

最後に、議会基本条例の原点に立ち戻り、任期中に議会改革として、実践したいことの対話を行った。

今回の研修で、議員相互間の討議や常任委員会の調査検討テーマの設定など、更に遠野市議会として議会改革に取り組みことの重要性を再認識した。

### ポイント!

対話とは  
お互いの立場や価値観を確認し、「新しい関係性」を作り出すプロセス



※ワールドカフェ「カフェ」のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数に分かれ、世界旅行の様にテーブルを移動して、他のテーブルのメンバーと対話を行い、参加者の意見思いなどを集めることが出来る手法。

## 総務常任委員会行政視察

調査日  
2月7日~9日

調査研究箇所

- ・ソフトバンク株式会社
- ・DEXEPO展
- ・サイボウズ株式会社
- ・エワイニクス・ジャパン株式会社

参加委員

- 小松 正真
- 千田 由美子
- 佐々木 大三郎
- 荒川 栄悦



自由な発想を生むファミレス風のオフィス

事を行うことで、社員間のコミュニケーション活性化を図っていた。固定電話もなく、またペーパーレスにより書類を保管するロッカー等も不要のため、社内は雑然としたところが一切なかった。

また、出社せずに遠隔で仕事を行うテレワークが進んでおり、2社とも10~20%程度の出社率で業務は滞りなく進められているとのこと。

遠野市役所でききなペーパーレス・テレワークを行うことは難

しいと感じるが、将来的にICT技術を活用すれば、市民生活の利便性が向上すると感じた。

※デジタルトランスフォーメーション

情報技術により業務や生活を良い方向に変化させること